



みはらふくし情報

5月号

平成26(2014)年

5月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599

本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064

久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011

大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

いま改めて住民のみなさんが取り組む「地域の福祉活動」が注目されています。具体的には交流の場である「サロン活動」や地元の住民組織と福祉専門機関が協力した「見守り活動」です。

今回は先駆的に見守り活動に取り組む久井地域の状況と本郷町南方のサロン活動についてお知らせします。

ひといを支える小さな助け合い活動

～地域見守りサポート推進事業～

久井地域センター

久井町内では地域の見守り活動である「見守りサポート推進事業」が7割の地域で取り組まれています。この活動を支えるのは「ふれあいサポーター(あるいは福祉委員)」141名のみなさんです。

きっかけは、高齢化や住民のつながりの希薄化が進む中、孤立を防ぎ、住民相互に心地よい見守りを通して安心して暮らせるようにとの思いから平成20年6月に中野地区町内会にて開始された「見守りサポート“やまなみ”」を皮切りに広がっています。

実施地域では「地域をあげて取り組んでいるので安心して畑仕事ができます」や「家族に迷惑をかけないように少しでも地域に役に立つことを見つけています」といった声に加え、サポーター側からは「たまに訪問すると嬉しそうに話をされる姿に、活動してよかったと思います」や「活動を通して、自分自

ら身も前向きに生活できるようになりました」といった声が寄せられています。またサポーターの体調不良を見守られる側が気遣うこともありサポーターと見守られる方の信頼関係も深まっています。

この活動では定期的にふれあいサポーターの定例連絡会議が開催され、その地域が取り組みやすい方法の検討と福祉に関する問題の早期発見と予防に努め、詐欺や交通事故・福祉制度などの情報交換を行っています。

対象となる高齢者全員の見守りは難しいですが、日常生活の中で少しでも安心できる地域づくりを目指し社協では取り組みを進めています。末永く活動を行うにはサポーター自身が元気で無理なく見守りをしていくことが必要です。小さな支えあいが、人と人とのつながりが深められていく活動になることを願っています。

右表
住民の意識

どんなことがあるから、見守り活動を続けてほしいと思いますか？

1	不安や寂しさが軽減
2	気軽にあいさつが、できる
3	ちょっとした困りごとを、きいてくれる
4	誰かが自分のことを、気にかけてくれる
5	人のつながりが広がった
6	地域をあげての活動だから、安心感がある

右表
サポーターの意識

見守り活動を続けたい理由はどんなことですか？

1	人とのつながりが深まる
2	気軽にあいさつができる
3	誰かを気遣うよう意識し始めた
4	人への思いやりが高まる
5	孤立予防のための声かけ大切と思う
6	地域全体の取り組み活動が安心につながる。

活力とつるおいのある生活を

～本郷町南方 見川サロン「かがやき」結成～

本郷地域センター

社協では住民が気軽に参加できる仲間づくりの場として「ふれあい・いきいきサロン」活動を進めています。

4月20日(日)南方コミュニティーセンターで見川サロン「かがやき」の第1回が開かれました。

南方地区社協会長・町内会長のご挨拶に続き、社協から「いま注目される”地域の福祉”」というテーマでお話をさせていただきました。

内容は、福祉制度や相談機関は従来に比べ大変充実してきましたが、「さみしいからお話し相手がほしい」などといった公的制度で対応できない困り事が増えている現状と住民のみなさんの得意なことについてお話ししました。具体例に「サロンに一緒に行こうよ」や「お元気ですか？」など日常生活に沿った話題で声掛けすることを住民のみなさんが得意なこととしてあげ、参加されたみなさんもうなずいておられました。

お話のあとは、レクリエーション。地元住民の方による踊りの披露に続き、うまく歌って健康になろうというテーマで、うまく歌うテクニックとそれに伴う健康への効果について体験です。

例えば声を震わせるビブラートは、頭を軽く前後に振ると震わせやすく、脳の刺激にもなることが紹介されました。↗

最後はみんなで「瀬戸の花嫁」を合唱し楽しいひとときはあっという間に終わりの時間を迎えます。次回はそば打ち名人を招いてのそば打ちと食事が計画されています。

4月には同じ南方地区において松原西楽々サロンも結成され、本郷町内では49カ所でふれあい・いきいきサロン活動が行われています。サロン活動通して安心して暮らすことのできる地域づくりが進められています。



写真:みんなで体を動かしての合唱の様子

お役立ち情報

みんなでなくそう！！ 子どもの交通事故

新学期が始まり1ヶ月が過ぎようとしています。新1年生達も学校生活に慣れてくる頃かと思われます。気候も過ごしやすくなり子どもたちの行動範囲もぐっと広がってきます。

車の運転や自転車乗車時には子どもたちの飛び出しや周囲に注意するとともに、スピードを控えましょう。

○子どもの人身事故で多いキーワード 5項目

▽道路横断中

▽自宅付近

▽夕方の時間帯

▽自転車の事故

▽小学生の男子児童



資料：警視庁ホームページから抜粋